



松北だより「笑顔」

第48号

平成28年12月 6日(火)

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉

【あいさつ・そうじ・時間のけじめ】

【やる気・本気・根気】

12月 怒らない、怒らない、… カチンと頭にきたら、

「1年生・2年生・3年生・4年生・5年生・6年生」と

指折り唱えて、いろんな友達顔を思い浮かべよう

— 今月のめあて、ちょっと長過ぎて、はみ出しちゃいました。 —

「あゆみ」の見方

第2学期の
～その1～

7月に配布しました松北だより「笑顔」第21～24号の内容とほぼ同様で、繰り返しになり恐縮ですが、改めてご一読いただければと思います。そして、通知表「あゆみ」の趣旨等についてのなお一層のご理解とお子様へのよりよいお声かけをよろしくお願いいたします。松北の保護者は、どの学校の保護者よりも「あゆみ」のことに詳しい！「あゆみ」の趣旨をよく分かっている！「あゆみ」を有効に活用している！そういうことを願っての、松北だより「笑顔」第48・49号です。

第2学期は、1年生も2年生以上と同様、「あゆみ」に記載される項目は、「生活の様子」及び「生活や特別活動の連絡」、「各教科における観点別の学習の様子」及び「学習の連絡」並びに「出欠の記録」となります。まずは「出欠の記録」を見て今学期を振り返り、4ヶ月間元気に登校したことをしっかりと認め、誉めてあげてください。また、各「連絡」の欄については、各学級担任が心を込めて記載していますので、ここも是非じっくりとお読みください。そして、よき励ましの材料にいただければと思います。

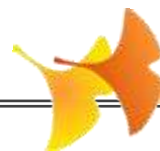
以下、今号と次号で、「生活の様子」と「各教科における観点別の学習の様子」における評価の在り方等について、再掲させていただきます。

「生活の様子」について (松北だより「笑顔」第22号の内容とほぼ同様です。)

ここでは、学校での生活の様子や行動の特徴などについて、10項目の観点に沿って、その子の中で特に優れている点や大いに努力が認められる点、すなわち、“個のよさ”を見出し、見極めていくという構えでの評価を行っています。「その学年のめあてに照らし合わせながら」と説明されているように、その学年としてふさわしいかどうかということを踏まえながらも、その子のよさはどこにあるか、という視点で評価していますので、結果的に、どの子の場合も必ず1～数項目に〇が付いているはずで、少し専門的な表現になりますが、このような評価の仕方を「到達度評価を加味した個人内評価」と言うことができます。

個人内評価ということは、〇の数だけを数えたりほかの子と比べたりしても、あまり意味がありません。〇の数だけで学校生活全般を大雑把に評価するのではなく、お子様と共に学校生活の様々な場面を思い出しながら、今学期を丁寧に振り返ることが何よりも大切かと思います。

そのためにも、「連絡」の欄に記載していることを、お子様と一緒に読みいただきたいと思います。



玄関前のイチョウの木から、
いい色の葉っぱが落ち始めましたよ。

＜あとがき＞

前回のアンガーマネジメント、すなわち、怒りの管理、怒りの感情のコントロールについて、2点ほど補足させていただきます。①12月のめあてに掲げている方法は一例です。すべての人にとってベストというものでは決してありません。②怒りの感情は必ずコントロールすべきだと考えている訳ではありません。時には、爆発させてしまうことがあっても、子ども同士でけんかになってしまっても、それはそれで結構です。そこから学ぶこともあるでしょう。ただ、往々にして後悔したり、人を傷付けてしまったりすることもあるので、一つのトレーニング法として紹介させていただきました。「笑顔でいれば好かれるし、怒ってばかりいたら嫌われる。それだけなんだよ。」・・・実業家で作家の斉藤一人さんという方の言葉です。

「各教科における観点別の学習の様子」について

（松北だより「笑顔」第22号の内容とほぼ同様です。）